

第5章 社会実験の結果

1. 「第2のふるさと創出」農山村体験ツアー

(1)実施内容

旭地区コース

時間	行動
08:30	大林小学校を出発
11:00	旭地区の古民家に到着。各種体験 (はし・竹の器作り、流しそうめん、豆腐作り、温泉卵作り等)
16:00	大林小学校へ帰着。

<行程概要>

旭地区の太田町で、日頃から町外からの来訪者との交流などに活用されている空き農家を使い、豆腐作り等の各種体験プログラムを実施した。参加者は、民家の広い軒先に設置した竹製の流しそうめん台を囲んで、歓声をあげるなど楽しんでいった。



<参加者の声など>

- ・竹のはし、器作りが初めてで楽しかった。
- ・豆腐作りが大変なためになった。味もスーパーの物とは全然異なり、おいしかった。
- ・温泉卵も作り方を初めて知った。家でも作りたい。
- ・子供と一緒に体験ができてとても良かった。
- ・旭町のお年寄りといろいろな話ができてとても良かった。
- ・是非、11月にも芋掘りに来たい。



足助地区コース

時間	行動
09:00	大林小学校を出発 三州足助屋敷の見学、五平もち作り、昼食 下国谷にて、椎茸栽培見学、芋掘り
16:00	大林小学校へ帰着

<行程概要>

足助地区の「三州足助屋敷」を訪問し、伝統的な暮らし方や民家の見学を行うとともに、五平もち作りを体験した。作った五平もちを昼食にすることで、楽しい昼食になったようだ。また、下国谷の集落では、雨天ではあったが、芋掘りを行い、菌床椎茸棚の見学を行った。



<参加者の声など>

- ・五平もち作りは炊飯を竈で行うことができ、五平もちも炭火で焼くことで楽しかった。
- ・芋掘りができ、たくさん掘ることができて良かった。
- ・雨天でぬかるみがあればさらに良かった。



稲武地区コース

時間	行動
08:00	大林小学校を出発 稲武地区の「どんぐり工房」にて、五平もち作りと芋鍋作り。昼食。 草木染め体験
16:00	大林小学校へ帰着

<行程概要>

当初は、黒田ダム湖畔の市有林で「間伐体験」を実施する予定であったが、雨天のため、草木染めに変更となり、稲武地区中心部の「どんぐり工房」にて、五平もち作りなどに引き続いて実施した。草木染めは、様々な布類を使って形を作り、それを自然の植物を水落した液で染め落として作る。タカキビ(紫)とマリーゴールド(黄)の2種類の色を使用した。



<参加者の声など>

- ・子供にもわかりやすい内容で、親子協力したり、それぞれ満足出来る体験であった。
- ・指導して下さる先生が、細かいところまで一から教えて頂け、説明も大変わかりやすくて良かった。
- ・普段は行えない大変珍しい体験ができて満足した。
- ・作った物を持ち帰ることが出来る点が良かった。
- ・行う前はあまり期待していなかったが、やってみたら意外と面白くて満足だった。



小原地区コース

時間	行動
08:30	大林小学校を出発 小原地区の西村自然農園に到着。各種体験 (こんにゃく・豆腐・まんじゅう作り、栗拾い、等)
16:00	大林小学校に帰着

< 行程概要 >

小原地区で自然体験や無農薬野菜料理などを提供している「西村自然農園」を訪問し、自然素材の郷土料理作りや、収穫の体験を行った。施設のオーナーから木の実や秋の花などの説明を受けるなどし、参加者は興味深く聞いていた。

< 参加者の声など >

- ・ 無農薬の野菜が食べられて良かった。
- ・ 自分達で作った豆腐やこんにゃくを食べられ、印象に残った。
- ・ 子ども達が日頃あまりしないお手伝いをしているのが微笑ましかった。



下山地区コース

時間	行動
09:15	大林小学校を出発 下山地区の「山遊里」に到着。ソーセージとスイートポテト作り体験、昼食 芋掘り体験
16:00	大林小学校へ帰着

< 行程概要 >

下山地区の体験施設「手作り工房 山遊里」にて、ソーセージ作りと、スイートポテト作りを行った。親子で助け合いながら楽しそうに作っていた。昼食は、下山地区自慢の米を使ったおにぎりと芋煮の汁。芋掘りはあいにくの雨だったが、長靴を履いてレジ袋が一杯になるまで収穫していた。

< 参加者の声など >

- ・ 普段の生活では行わないことを親子で体験できて良かった。
- ・ 安価で参加出来るので、また機会があれば参加したい。



(2)参加者アンケート結果

ア．調査方法等

調査対象：ツアー参加の 42 家族（うち 29 家族がセカンドスクール参加児童家庭）

調査方法：ツアー終了後に配布、郵送による回収

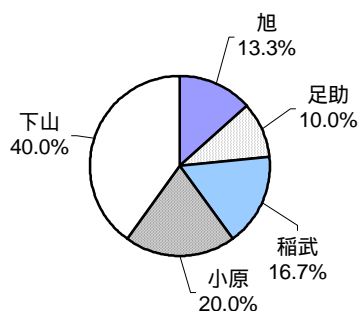
回答数：30 件

調査項目：参加動機、印象に残っていること、今後の参加意向、等

イ．結果概要

(ア) 参加コース

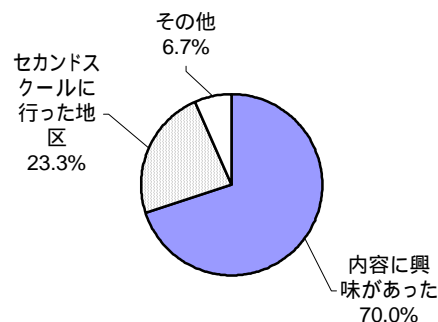
(N=30)		
旭	4	(13.3%)
足助	3	(10.0%)
稲武	5	(16.7%)
小原	6	(20.0%)
下山	12	(40.0%)



(イ) 今回の行き先を希望した理由

- ・「内容に興味があった」が 70.0%と最も多い。
- ・「セカンドスクールに行った地区」は 23.3%に止まっている。今回はセカンドスクールで訪問した家庭を訪れないことから、必ずしも同じ地区を希望しない参加者も多かったと考えられる。

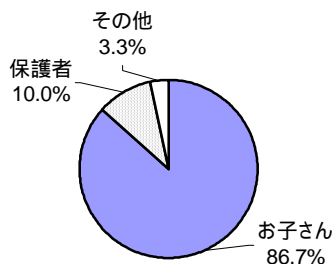
(N=30)		
内容に興味があった	21	(70.0%)
セカンドスクールに行った地区	7	(23.3%)
地区に興味があった	0	(0.0%)
特に理由はない	0	(0.0%)
その他	2	(6.7%)



(ウ) 今回のツアーを希望した人

- ・子供が参加を希望したという回答が大半を占める。

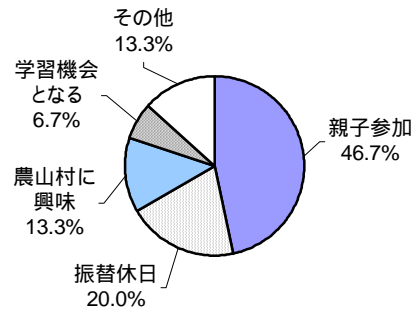
(N=30)		
お子さん	26	(86.7%)
保護者	3	(10.0%)
その他	1	(3.3%)



(エ) ツアーへの参加理由

- ・「親子で参加できる企画であったから」が 46.7%と半数近くを占める。次いで「振り替休日でちょうどよかったから」「農山村に興味があったから」などとなっている。

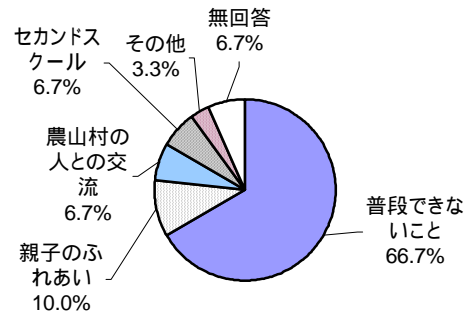
(N=30)		
親子参加	14	(46.7%)
振替休日	6	(20.0%)
農山村に興味	4	(13.3%)
学習機会となる	2	(6.7%)
その他	4	(13.3%)



(オ) 最も期待したこと

- ・「普段体験することのできない体験ができる」が 66.7%と最も多い。
- ・「農山村の人々と交流することができる」は 6.7%に止まり、「農山村での暮らしや農林業について理解が深まる」は回答がなかった。

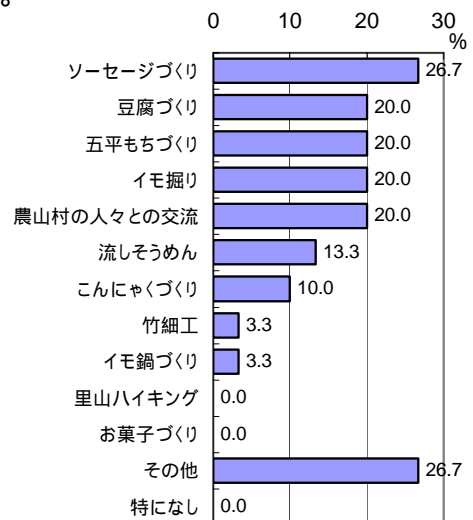
(N=30)		
普段できないこと	20	(66.7%)
親子のふれあい	3	(10.0%)
農山村の人々との交流	2	(6.7%)
セカンドスクール	2	(6.7%)
農林業についての理解	0	(0.0%)
その他	1	(3.3%)
無回答	2	(6.7%)



(カ) 最も印象に残っていること

- ・参加者が一番多い下山地区で行った「ソーセージ作り」が最も多いが、「農山村の人々との交流」も、「豆腐作り」「五平もち作り」などと並んで二番目に多い。
- ・「芋掘り」は、あいにくの雨天で泥だらけになって行っていたが、かえってそれも楽しく印象的だったという意見も多い。

(N=30)		
ソーセージづくり	8	(26.7%)
豆腐づくり	6	(20.0%)
五平もちづくり	6	(20.0%)
イモ掘り	6	(20.0%)
農山村の人々との交流	6	(20.0%)
流しそうめん	4	(13.3%)
こんにゃくづくり	3	(10.0%)
竹細工	1	(3.3%)
イモ鍋づくり	1	(3.3%)
里山ハイキング	0	(0.0%)
お菓子づくり	0	(0.0%)
その他	8	(26.7%)
特になし	0	(0.0%)

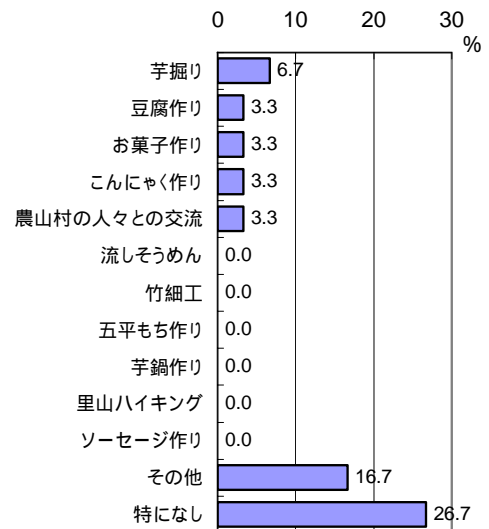


(キ) つまらなかったもの

- ・ 選択肢では、「特になし」が最も多い。
- ・ 「その他」の回答として、ツアー運営上の指摘や、もっとゆっくりと交流をしたいという意見がいくつか得られた。

(N=30)

芋掘り	2	(6.7%)
豆腐作り	1	(3.3%)
お菓子作り	1	(3.3%)
こんにゃく作り	1	(3.3%)
農山村の人々との交流	1	(3.3%)
流しそうめん	0	(0.0%)
竹細工	0	(0.0%)
五平もち作り	0	(0.0%)
芋鍋作り	0	(0.0%)
里山ハイキング	0	(0.0%)
ソーセージ作り	0	(0.0%)
その他	5	(16.7%)
特になし	8	(26.7%)

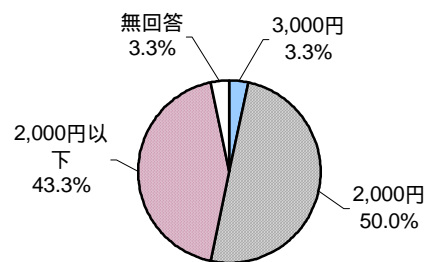


(ク) 同内容で支払っても良いと思う金額

- ・ 一人あたり「2,000円」が50.0%、「2,000円以下」が43.3%となっている。

(N=30)

5,000円	0	(0.0%)
4,000円	0	(0.0%)
3,000円	1	(3.3%)
2,000円	15	(50.0%)
2,000円以下	13	(43.3%)
無回答	1	(3.3%)

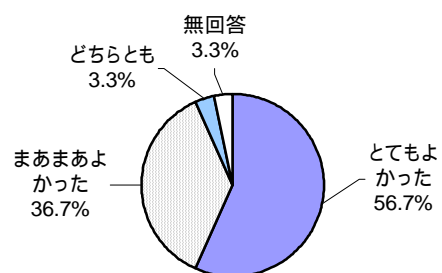


(ケ) 今回のツアーの感想

- ・ 「とてもよかった」57%、「まあまあよかった」37%となっており、概ね満足されている。
- ・ 良かった理由として、「子ども達が生き生きしていた」ことや、「地域の人々との交流」「日頃出来ない事が体験できた」ことなどが挙げられている。
- ・ 雨天のため内容変更となった点の案内不足などを指摘する意見も若干あった。

(N=30)

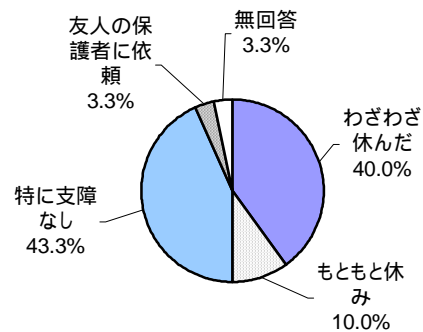
とてもよかった	17	(56.7%)
まあまあよかった	11	(36.7%)
どちらとも	1	(3.3%)
あまりよくなかった	0	(0.0%)
よくなかった	0	(0.0%)
無回答	1	(3.3%)



(コ) ツアー参加のために保護者が仕事等を休んだかどうか

- ・専業主婦などで「特に支障なし」との回答が 43.3%と最も多い一方で、「わざわざ休んだ」も 40.0%を占めている。

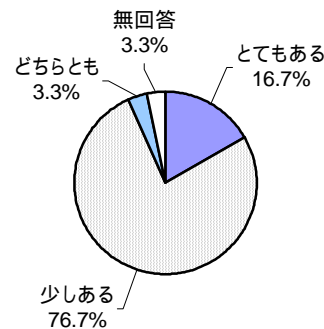
(N=30)		
わざわざ休んだ	12	(40.0%)
もともと休み	3	(10.0%)
特に支障なし	13	(43.3%)
友人の保護者に依頼	1	(3.3%)
無回答	1	(3.3%)



(サ) 農山村体験への興味

- ・「少しある」が 76.7%と最も多い。日頃から積極的にというわけではないが機会があれば参加する、といった層が多いと考えられる。

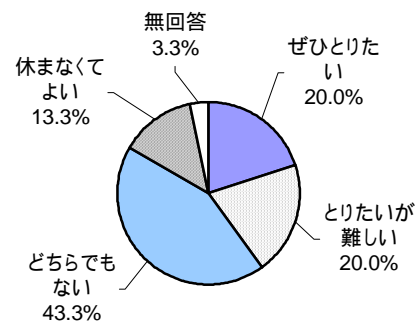
(N=30)		
とてもある	5	(16.7%)
少しある	23	(76.7%)
どちらとも	1	(3.3%)
あまりない	0	(0.0%)
まったくない	0	(0.0%)
無回答	1	(3.3%)



(シ) 保護者が休みを取ることにについて

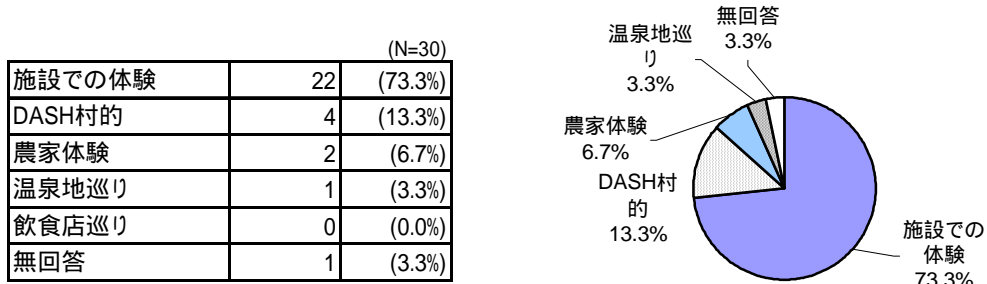
- ・「どちらでもない」が 43.3%と最も多く、ついで「ぜひとりたい」「とりたいが難しい」が各 20.0%で並んでいる。

(N=30)		
ぜひとりたい	6	(20.0%)
とりたいが難しい	6	(20.0%)
どちらでもない	13	(43.3%)
休まなくてよい	4	(13.3%)
無回答	1	(3.3%)



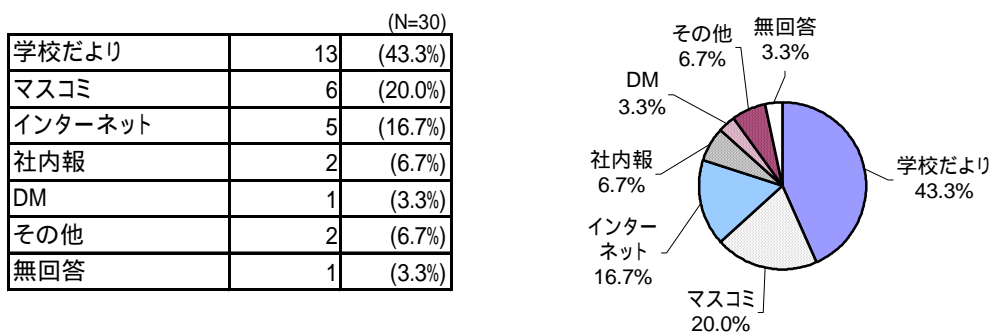
(ス) 家族での農山村体験で希望するもの

- ・「体験施設での体験（そばうちや五平もち作り）」が73.3%を占める。小学生の保護者の回答であるためか、整備された施設での体験を求める回答が多い。



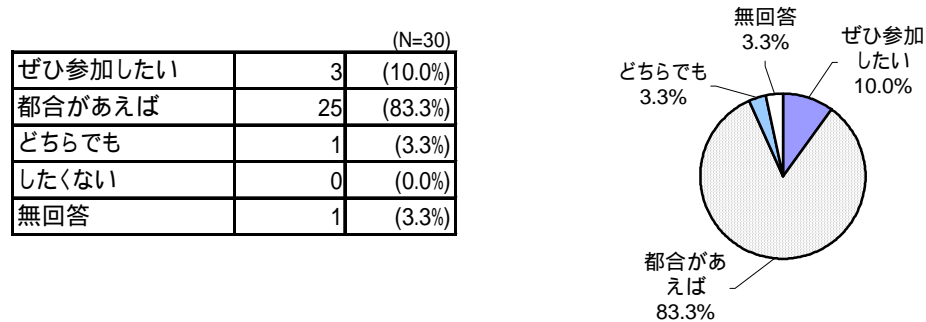
(セ) 希望する農山村情報の手段

- ・「学校だより」が43.3%と最も多く、次いで「マスコミ」20.0%、「インターネット」16.7%などとなっている。児童と保護者で参加する農山村体験などの情報について、学校からの紹介であれば信頼度が高いことが窺われる。



(ソ) 今後の参加意向

- ・「都合が合えば参加したい」が83.3%を占めている。
- ・参加するための条件として、「休みが取れれば参加したい」「いつも休める状況とは限らない」など、休暇の取得を挙げるものが多かった。
- ・また、「今度は父親も参加したい」という意見もあった。



(3)実施結果まとめ

今回のツアーは、セカンドスクールで訪れた農山村へ家族で再訪問するという主旨で、大林小学校の児童と保護者を対象に募集し、118人(大人45人、子ども73人)42家族(うち、29家族がセカンドスクール参加児童の家庭)が参加した。

個々のホームステイ農家を訪問しないということで募集したが、ツアー参加者(保護者)の多くが、普段出来ないことを体験できることに期待して参加。結果もその点について高く評価している。

ツアー参加の動機は、子供が希望したためという回答が大半。また、参加してみて、子供の生き生きとした姿を見ることが、良い感想につながっている。

家族で体験する場合に希望するものは「施設での体験」が多い。小学生連れの保護者としては、受入体制が整備された場所を求めることが窺われる。

保護者の参加は、専業主婦や、うまく仕事が休めた場合のみ可能。今後の参加意向も、休みが取れるなど「都合が合えば」参加したい、というものが多く、保護者の休暇取得がカギとなっている。

全体的に、参加者は普段から農山村体験へ特に積極的な興味を有しているというわけではないが、参加後の評価は高く、機会があれば今後も参加したいという意向を持っている。このため、家族等で参加しやすい機会づくりや、情報の提供により、参加促進につながると考えられる。